

平成28年3月吉日

関係各位

(一社) 日本木材学会 産学官連携推進シンポジウム・交流会へのご案内ならびにご参加のお願い

我が国では、国土の3分の2が森林に覆われていますが、世界的に見ても、非常に希な森林資源に恵まれた国であると言えます。現在、我が国の森林には、約50億 m^3 の木質資源の蓄積があると推定されていますが、さらに毎年、約8,000万 m^3 の木質資源が増加しつつあると言われています。一方、平成26年度の我が国の国産材生産量は、2,366万 m^3 に留まっていることから、森林の適正な経営を担保しつつ、さらに国産材の利用拡大を図っていくことが強く求められています。また、このことが我が国における持続的な成長社会の実現のためにも極めて重要と位置付けられ、このような中で、中大規模の公共建物、商業建物等の建設への木材利用が大きな注目を集めるようになってきております。

さて、(一社)日本木材学会は、昨年、創立60周年を迎えました。その中で、これまで学会関係者が蓄積してきた多くの学術成果を、産学官連携の推進を図ることで社会に還元していくことが学会の大きな使命であることを再認識し、その活動を強化していくことを目標に掲げました。また、この目標を達成するために、官庁や木材利用に関連する団体とも意見交換を始めたところではありますが、建築物への木材の利用拡大をさらに推進していくためには、(公社)日本建築士会連合会ならびに(一社)日本建築学会との連携強化を図ることが必要と考え、このたび、「建築物へのさらなる木材利用の拡大に向けて - その可能性と課題 - 」と題してシンポジウム・交流会を企画いたしました。

関係各位におかれましては、お忙しい日々かとは思いますが、以上の趣旨にご理解ならびにご賛同をいただき、何卒、ご参集いただきたくご案内申し上げます。

(一社) 日本木材学会 会長 鮫島 正浩
産学官連携推進委員会 委員長 鈴木 滋彦

(一社) 日本木材学会 産学官連携推進シンポジウム・交流会
「建築物へのさらなる木材利用の拡大にむけて - その可能性と課題 - 」

(主催) (一社) 日本木材学会
(共催予定) (公社) 日本建築士会連合会、(公社) 日本木材加工技術協会、
(公社) 日本木材保存協会
(協賛予定) 林野庁、(一社) 日本建築学会、(一社) 木を活かす建築推進協議会、
木質構造研究会、木材利用システム研究会

開催日 : 2016年4月26日 (火)

会場 : 東京大学弥生講堂 一条ホール (東京大学農学部キャンパス内)

★シンポジウム : 13:30-17:30

開会挨拶 13:30-13:35

(一社) 日本木材学会 会長 鮫島 正浩

基調講演 「林業の成長産業化と地方創生-国産木材の需要拡大に向けて」 13:35-14:15
林野庁 長官 今井 敏 氏

基調講演 「木造建築の普及に関する課題と期待」 14:15-15:05
(公社) 日本建築士会連合会 会長 三井所 清典 氏

休憩 15:05-15:20

講演 「非住宅建築物での木材利用拡大における技術課題」 15:20-16:00
(一社) 日本建築学会 木質構造運営委員会 委員長 五十田 博 氏

講演 「木材の個性と多様性」 16:00-16:40
(一社) 日本木材学会 前会長 杉山 淳司 氏

総合討論 16:40-17:20

進行 : (一社) 日本木材学会 副会長 (産学官連携推進委員長) 鈴木 滋彦

閉会の辞 17:20-17:30

(一社) 日本木材学会 会長 鮫島 正浩

★交流会 : 17:40-19:30

参加費 : シンポジウム 事前申込 2,000 円、当日 3,000円
交流会 事前申込 4,000 円、当日 5,000円

*別紙の申込書にご記入の上、FAX・E-mail等でお申込みください。